

「自動車の高度化に伴う安全確保策のあり方検討会」の設置について

1. 背景

自動運転技術や電動車の普及等、自動車の変容・高度化に伴い、高電圧保護や各種センサーの作動不良、サイバーセキュリティ等の新たな課題に対応すべく、電動車や自動運転技術搭載車（運転支援技術搭載車両も含む）の不具合情報を収集することがより重要になっている。

また、車両のセルフチェック機能（いわゆる「OBD（On-Board Diagnostics）機能」）の導入により、今後、使用過程車に記録された故障データの更なる活用が可能となる見込みである。

こうした不具合情報や故障データ等を有効活用することにより、安全・安心を確保した上で、ユーザーの利便性を図る取り組みについて検討する。

2. 検討事項

自動車の高度化に伴い OBD 機能を搭載した使用過程車に関する故障データの収集・分析を進め、電動車や自動運転技術搭載車の安全確保策やデータの有効な利活用策についての検討を行う。

- ✓ 自動車に搭載される OBD 機能の動向調査
- ✓ 高度化した自動車の故障・整備データ（実車データ）等の収集・分析
- ✓ 電動車や自動運転技術搭載車に対する安全確保策の検討
- ✓ 電動車や自動運転技術搭載車に関するデータの利活用策の検討

3. スケジュール（想定）

令和3年8月26日

第1回検討会開催

令和3年度中

4回程度開催し、方向性を取りまとめ